

まちづくり

- 2 ごあいさつ
- 4 特集 新規事業紹介
- 6 特集 こんなときだからこそ地域活動に取り組みました！
- 8 各部署の取組を紹介
- 12 ご寄付のお礼・生活支援員の募集



子どもの居場所づくり シンポジウム 2020.11.15 (日)



上段写真：健康すこやか学級をオンラインで開催。久しぶりに再会した講師や学生と一緒に介護予防体操！

下段写真：子どもの居場所づくりシンポジウムを開催。登壇者の発言を即時にイラスト化して会場のスクリーンに映し出し、議論を見える化！

CHECK



私たちはコロナに負けない！ 今こそ、つながろう。

地域の活動者は、離れていてもつながりを絶やさないようにと、ウィズコロナ社会を切り拓く取組を進めています。地域では「通いの場」をオンラインで開催する取組が生まれています。また、本会では「子どもの居場所づくりシンポジウム」を開催して、こんな時だからこそ、子どもたちへの支援のあり方や居場所の運営を考える場を持ちました。

人に優しく、災害に強い、信頼の絆で結ばれたコミュニティづくり

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

共に生きる福祉のまち「京都」の実現



京都市の社協基本構想に基づく 「共に生きる福祉のまち『京都』」の実現へ

社会福祉法人京都市社会福祉協議会 会長 小石 玖三主こいし くみす

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、本会の運営と事業の推進に対しまして、格別の御理解と温かい御支援を賜り、心から感謝を申し上げます。本年も京都市の社協活動と地域福祉の発展のため、より一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、御承知のとおり、令和2年の新型コロナウイルス感染症の世界的大流行の長期化は甚大な経済不況を引き起こし、これまでにない深刻な貧困問題と社会的孤立が急激に広がるとともに、いわゆる「三密」対策、「新しい生活様式」等により住民同士の支え合いの活動へも多大なる影響を及ぼしています。

本会では平成31年3月に策定した「京都市の社協基本構想」の具体化を図るため、令和2年3月に「推進計画」を策定し、区社協では「地域福祉活動計画」を策定するとともに、学区社協においては、地域課題を踏まえた「学区社協重点活動プラン」に基づく身近な地域の福祉活動を推進していただいております。

さらにコロナ禍での貧困問題への取組としては、3月から市・区社協が一丸となって、生活福祉資金特例貸付や住居確保給付金の相談対応にあたるとともに、社会的孤立への取組として、ウイズコロナ時代の地域活動への支援を積極的に取り組んでいます。

令和三年元旦

新年あけまして、おめでとうございます。

コロナ禍において、感染拡大防止に多大な御尽力を賜っている市民・事業者の皆様。医療・福祉・子育て支援・教育はじめ、それぞれの現場で献身していただいている方々に、心から感謝申し上げます。そして、京都市社会福祉協議会におかれましては、生活資金にお困りの方に対する貸付をはじめ、市民の皆様の日々の生活に寄り添った、心のこもった取組を展開いただいております。小石玖三主会長、村井信夫顧問をはじめとされる役員並びに会員の皆様の福祉に対する御熱意と多大な御尽力に、心から敬意を表しますとともに、皆様の常々の御指導・御支援に重ねて感謝申し上げます。

この危機の中で、市民の皆様のうちと健康、暮らしをしっかりと守る。そして、困難な時こそ京都ならではの「地域力」「市民力」をいかし、府市協調、国や経済界等との連携を深め、新たな課題の解決に挑戦する。昨年は、その決意を新たに、市民ぐるみで行動した一年でした。

本市では、市民の健康を支える保健師を段階的に増員。人口1万人当たり2・3人（政令市平均1・56人）で、100万人以上の都市トップの体制を確保しておりますが、感染拡大状況を踏まえ、更に拡充しました。

初の感染者が確認された直後から、全国に先駆けて24時間対応の相談窓口を設置。京都府、医師会等と連携し、診療・検査体制も抜本的に拡充するなど、いのちと健康を最優先に「正しく恐れる」対策を進めてまいりました。

また、子どもの貧困や、いわゆる「8050問題」、ひきこもりの課題が社会的にクローズアップされる中、本会ではこれまでから地域住民や関係者とともに多様化・複合化する地域課題への対応にあたってきた経験やノウハウを活かして、6月から子ども食堂等へのサポートを行う「子どもの居場所づくり『支援の輪』サポート事業」を、9月からは全年齢のひきこもりの問題に対応する「『よりせい・つなぐ』相談窓口（京都市ひきこもり相談窓口）」やひきこもる方への伴走型支援を行う「よりせい支援員」の活動を京都市から委託を受けて開始し、誰もが地域のなかで尊重される福祉のまちづくりを進めているところです。

このように本会では、村井信夫顧問をはじめとした役員の皆様で築き上げられた実績を礎に、市民の皆様信頼に應えるため、地域福祉を推進する中核的な団体として、市・区・学区の三層の社協の総合力を活かして住民主体の地域福祉活動を充実するとともに、京都市民生児童委員連盟をはじめ関係機関や団体・施設等とのネットワークを強化し、京都市とのパートナーシップのもと、「共に生きる福祉のまち『京都』の実現」に向け、さらなる取組を推進して参る所存です。

本年が更なる飛躍の年となりますよう、今後とも皆様方により一層の御支援並びに御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

また、地域においては、困りごとを抱える世帯が孤立することなく、安心して過ごすことのできるよう、ひきこもり支援体制の強化等にも取り組んできました。

個人の日常から社会の有り様まで大きく変わるウイズコロナ時代。デジタル化、働き方改革、新たなビジネスモデル…。危機をチャンスに、スタートアップの力で社会的課題を解決。そしてウイズコロナ社会に対応した地域福祉の推進。本年は、そんな京都の在るべき姿を共に描き、挑戦と改革を進めてまいります。

構造的に脆弱な財政構造、地方交付税の減額、そんな中でも一人ひとりを徹底的に大切に作る福祉、教育、子育て支援、防災減災などの取組が、「都市特性評価」3年連続1位などの輝かしい実績へとつながりました。しかし、コロナ危機で大幅な税収減となり、来年度500億円もの財源が不足する見込み。持続可能な行財政の確立へ、全庁挙げて取り組みます。そして、「誰一人取り残さない」SDGs、持続可能な社会の実現に向け、感染防止、経済回復、環境対応、社会・市民活動…。これらをしっかりと並立させ、全力を挙げてまいります。

京都の千年の歴史は、あまたの危機を乗り越え、発展してきた歴史。歴史に学び、オール京都で力を合わせ、未来を展望していく決意です。本年もよろしくお願い申し上げます。



コロナ禍を乗り越え、 京都の明日を共に描きましよう！

京都市長 門川 大作かどかわ だいさく

生活支援部

ひきこもり支援の新たな仕組みにおける『よりそい・つなぐ』相談窓口と『よりそい支援員』

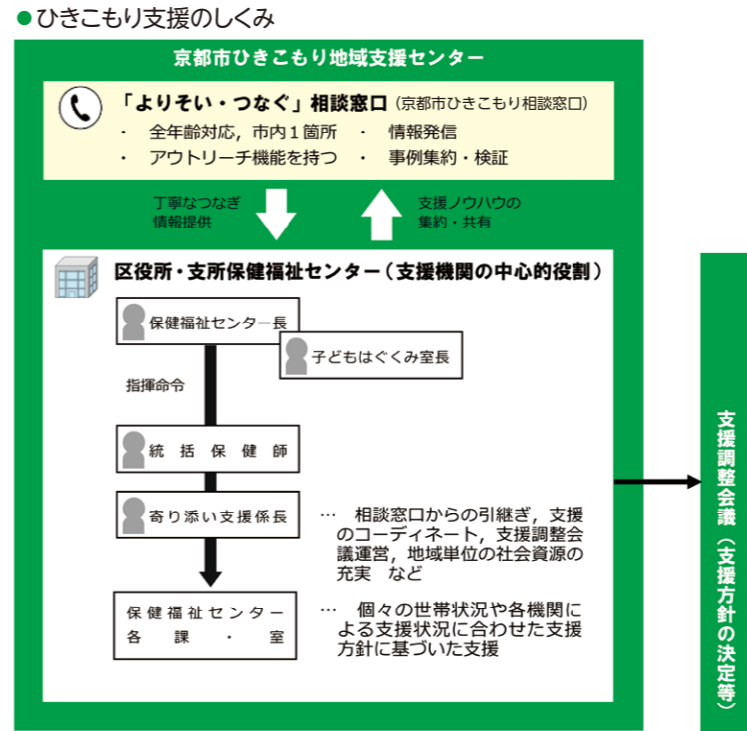
〜ひきこもる人によりそい、支援を届けるために〜

社会情勢の変化の中、だれもが直面するかもしれない課題として「ひきこもり」への認識が広がっています。ひきこもる人の抱える課題は多岐にわたり、状況も様々である一方、顕在化しなくなっています。そこで、京都市では「ひきこもり」

が社会全体で取り組むべき喫緊の課題との認識のもと、ひきこもる人に「気づき」「つなぐ」「支える」ための支援の仕組みが再編されました。京都市社会福祉協議会では、地域あんしん支援員設置事業、チャレンジ就労体験事業等を通じ、ひきこもる

よりそい支援員

ひきこもっている人や家族の思いに丁寧によりそい、本人のペースを大切にしながら支援をしていきます。面談、訪問、同行など様々な支援を行っています。


- ### 再編のポイント
- 「よりそい・つなぐ」相談窓口と区役所・支所保健福祉センターで「ひきこもり地域支援センター」を構成
 - ひきこもりにかかる相談の窓口を全年齢型窓口として一元化
 - 区役所・支所保健福祉センターを中核とした支援体制と支援調整会議の設置

「よりそい・つなぐ」相談窓口
ひきこもる人の多くはそれまでの過程で傷つき、自信を失ったり、背景に複雑な課題を抱えています。窓口ではその人に向き合い、一緒に課題を解きほぐす役割を持ちます。まずはお電話でご相談いただき、面談等でお話をお伺いします。

● 9月～11月末までの相談対応

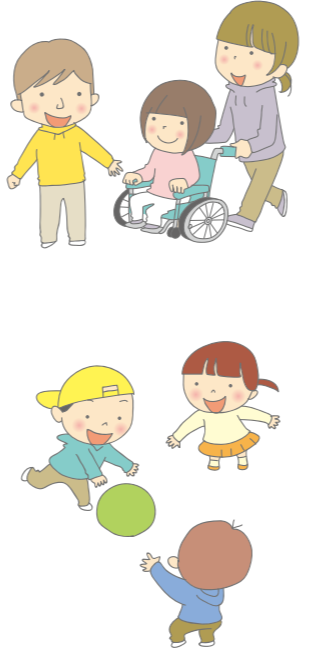
相談ケース数	158ケース
面談・対応回数	面談 131件
	電話 232件

電話 075-212-7808
開設時間 月曜日から土曜日(日・祝・12/29～1/3除く) 午前9時～午後6時



地域支援部
ボランティア支援部

子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業が始まりました！



子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業とは

子どもの貧困や孤立を背景に、子どもの育ちをサポートする「子ども食堂」や「学びの場」が増えています。平成30年度に実施した「子ども食堂実施団体へのアンケート調査」結果からは、「地域の子どもたちをもっと支援したい」という運営者の思いが、保護者や地域の人々からの共感を得るなかで子どもの居場所が広がっていることがわかりました。本会は京都市より子ども居場所づくり「支援の輪」サポート事業を受託し、次の取組を進めます。

子どもの居場所づくりシンポジウムを開催

11月15日(日)、ひと・まち交流館 京都において、「子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業」のキックオフイベントを兼ねたシンポジウムを開催しました。「子どもの居場所づくりシンポジウム」を開催しました。会場とオンラインを合わせて、約150人が参加。子ども食堂や学習支援に取り組む3団体が実践報告を通して、新型コロナウイルスによる影響や子どもの支援のあり方について議論を交わしました。

本事業の取組内容

1. 子どもの居場所の拡充
2. 子どもの居場所運営支援
3. 子どもの居場所に関する啓発活動
4. 「気づきの窓口」サポート


子どもの居場所90カ所 (令和2年11月末現在)




事業HPのQRコード
<https://kyoto-kodomo.jp/>




宇野明香さん (ハピネス子ども食堂：南区)
子ども食堂を立ち上げて5年目。子ども食堂が開催できない間、食材を届ける活動やお弁当の配布。外出自粛でストレスを感じている子どもを受け止める、親や教師以外の第三者の大人の存在が大切だと感じています。




小林敬子さん (ハイ・どうぞ子ども食堂：中京区)
子ども食堂を立ち上げて4年目。他にも絵本のひろばやふれあいサロンなど幅広く活動。今だからこそ、私たちができることを考え、お弁当を渡す活動を始めました。



竹田明子さん (京都市ユースサービス協会)
市内18カ所において中学生学習支援事業を実施。中学生の現状を心配するボランティアの協力により、オンラインを活用した学習支援にも取り組んでいます。



村井琢哉さん (山科寝鞠こどものひろば)
子どもに関する支援を実践。本事業アドバイザー。今回、シンポジウムのコーディネーターを担当。誰と一緒に過ごす居場所をつくっていきたいのか、そのためにどんな手立てが必要か模索されていることを実感しました。



コロナに負けない地域づくり！ 宅配事業者とともに 高齢者等を見守る



本会では、平成25年11月に、京都生活協同組合、京滋ヤクルト販売、近畿中央ヤクルト販売と「高齢者等の見守り活動連携事業」の協定を結びました。宅配時に「異変」を感じた場合、区社協が連絡窓口になって支援

を行う事業です。これまで対応したケースは計107件にのぼり、そのうち自宅で倒れていた人を救急搬送によって一命を取り留めたり、認知症の人など継続的な支援が必要な人を専門職につなぐことができたケースが

全体の25%を占めました。地域では学区社協、民生委員、高齢サポート（地域包括支援センター）などの多様な主体による見守り活動が行われています。しかし、今年こそはコロナの感染拡大により活動が思うよう

に進まないのが現状です。今後、企業をはじめ多様な主体と連携して「コロナに負けない重層的な地域の見守り」を推進していきます。



▲オンラインによる健康すこやか学級を開催



▲タブレットのカメラを使って会場の様子をZoom参加の人と共有



▲「ありがとうございます」と元気にお弁当を受け取ります

新しい生活スタイル
地域の絆づくり

ホームページにて公開中！

活動再開のポイントや事例を紹介

北区中川区では、Zoom[®]を使って、地域介護予防推進センターと自宅の大学生と一緒に「健康ふれあいクラブ」（健康すこやか学級）を開催しています。
中川社協の水田会長からは「災害用のWi-Fiを使って、普段の活

動にも役立てました。難しいところもあるけれど、みんなでチャレンジして課題や成功談を共有できたらいいですね」と前向きなコメントを頂きました。
※インターネットを利用したオンライン会議やセミナーができるサービス

下京区で活動されている「西本願寺みんなの笑顔食堂」は平成30年12月から毎月、大人も子どももみんなが集える食堂を開催してきました。コロナ禍で食堂が休止になって以降は子どもだけではなくアルバイトが休みで困っている状況の学生にも、

通常より安いお弁当を販売して「食」を支えてきました。
また、子どもにより丁寧に開ける取組として、ライオンズクラブ国際協会335LC地区の協賛で学習支援とお弁当配布を行う「西本願寺みんなの笑顔塾」がスタート。初回は残念ながら新型コロナウイルス感染拡大のため、お弁当の配布のみとな



通いの場
オンラインでつながる！



食堂↓お弁当
形を変えて続けています！

前回の福祉のまちづくり183号では、コロナ禍で取り組まれた様々な地域活動をご紹介しました。その後も感染症対策に気をつけなければならぬ日々が続いていますが、そのような状況下だからこそ、つながりを絶やさない、創意と工夫の取組も増えています。今回は、そんな新しいチャレンジを3つご紹介いたします。



地域活動に 取り組みました！ こんなときだからこそ



オンラインで活動を発信！



▲メンバーの1人が得意分野を活かして絵コンテ作成



▲毎月、葛野児童公園の清掃を行っています

右京区で活動されている「右京区民ふれあい」は、平成31年4月に地域支え合い活動入門講座の修了生によって発足し、「楽しく気ままに仲間と一緒に」をモットーに、地域活動に取り組んでいます。今年度は

団体のPR動画の作成に取りかかりました。「難しいけど知識が増える！」とこれまでの経験や知恵を活かして計画・撮影・編集にメンバーで取り組んでいます。



こんなサービスご存知ですか？

京都市単身高齢者万一あんしんサービス

一人暮らしの高齢者の中には、自分が亡くなった後の手続きに不安や悩みを持っている人がいます。そこで、京都市社会福祉協議会では、京都市からの委託を受け、身寄りのない低所得の単身高齢者を対象とする「京都市単身高齢者万一あんしんサービス」に取り組んでいます。

どんな支援が受けられるの？

火葬及び納骨等の
死後事務委任契約^(※)
を結び、あらかじめ
葬儀等に必要なる費用
をお預かりし、定期
的に安否確認を行う
とともに、万が一お亡くなりになったときは、
葬儀や納骨等を行います。



(※) 委任者(本人)が第三者に対し、亡くなった後の諸手続(葬儀、納骨、埋葬)に関する事務等を委任する契約をいいます。



もしものときに頼る人がいないので、あらかじめ準備しておきたい。

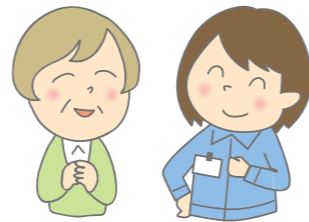
自分が亡くなった際、家に残った家財の処分のことも心配。

どんな人が利用しているの？

次のような思いや不安をお持ちの人が、このサービスを利用しています。

対象となる人

- 京都市内在住の65歳以上の人
 - 子どもや頼れる親族がいない人
 - 低所得(市民税非課税、不動産非所有、預貯金240万円以下)の人
- その他、詳細については、問い合わせ先まで



問い合わせ先：京都市長寿すこやかセンター 075-354-8741

福祉事業を始めるなら

賠償責任保険は必須です!

福祉事業者総合補償制度「まごころワイド」をおすすめします!

充実の賠償責任補償制度、安価な傷害見舞金補償制度など必要なプランを組み合わせてご加入いただけます。

福祉専門チームによる安心の事故対応、京都市社会福祉協議会、京都府社会福祉協議会が提供する福祉の現場に合った内容です。

詳しい補償内容はこちらまで

福祉の保険「まごころワイド」取扱代理店

京都の総合保険代理店 **SRM 株式会社 エスアールエム**

専用TEL **075-255-0883**

福祉の保険ホームページ **www.srm-net.co.jp/**

引受保険会社：三井住友海上火災保険株式会社

この広告は保険の特徴を説明したものです。詳しくは商品パンフレットをご覧ください。

ボランティア活動には「ボランティア保険」イベントを開催される際には「福祉行事保険」も併せてご利用ください。

「自然災害におけるボランティア支援に関する協定」を締結



寄贈いただいた備蓄用資材

令和2年7月30日、京都市社会福祉協議会は、京都府社会福祉協議会とともに、ライオンズクラブ国際協会3351C地区と自然災害発生時の支援活動が迅速に行われるように「自然災害におけるボランティア支援に関する協定」を締結しました。

この協定により、被災地支援のボランティア活動に取り組む際に、支援ボランティアの移動に係る輸送手段の手配・提供、ボランティア活動支援拠点の整備、運営及び資材不足分の提供などライオンズクラブ国際協会3351C地区会員の専門性を生かした支援を提供いただくことになりました。

また、締結を機にコロナウイルス感染予防に対応した活動が展開できるよう、京都市災害ボランティアセンターに非接触型体温計、アルコール消毒液等の資材を備蓄用として寄贈いただきました。

知ってほしい! 考えてほしい! ボランティア活動②

これからボランティアをはじめたいあなたに!

前号では「自分の意思で行う」「自分のためだけでなく地域や社会のため」がボランティア活動のポイントであることをお伝えしました。ボランティア活動は、活動によって自分自身も豊かにしてくれる力を持っています!

さまざまなことが得られる

活動を通して、感動や喜び、充実感、達成感などが得られたり、活動そのものが楽しみになることがあります。また、ボランティア活動を通じてさまざまな体験をしたり、人や社会、自分について新しく気づくことがあったり、知識や技術を学ぶこともできます。さまざまな人たちと知り合ったり、協力しあうことで、人とのつながりを広げることができます。

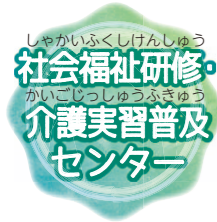
すでにある仕組みや発想を超えられる

ボランティア活動は自由な意志で取り組むものですので、すでにある仕組みや発想にとらわれずに、何が必要とされるかを考えて実施することができます。そうした取組が、新しいサービスや社会の仕組みを生み出すことにつながることもある創造的な活動なのです。

出典：「はじめてのボランティア 自分にあつた活動を見つけよう!」
社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国ボランティア・市民活動振興センター



2回シリーズ



キャリアパス研修 Zoomオンライン研修 職場実践「信頼し合えるチームづくり」



施設紹介

しゃかいふくしほくじん しゅうこうがくえん
社会福祉法人 修光学園
ひかり いえ
光の家アクティブセンター

対象者 知的障害のある18歳以上の人
定員 生活介護20名

社会福祉研修・介護実習普及センターでは、様々な研修を実施しており、研修内容を職場での実践に役立ててもらうことで、福祉サービスの質の向上に努めています。今年度は、新型コロナウイルスの感染を回避する方法として、キャリアパス研修管理職コースを、Zoomによるオンライン研修で実施しました。今回、受講者に受講後、職場でどのように学びを活かされたかインタビューをしてみました。光の家アクティブセンターで働く河端麻須美さんは、職員から信頼されるリーダーシップの向上を目的として受講されました。研修後、「オンラインでもわかりやすい研修でした。信頼し合えるチームづくりのため、求められる職員像をテーマとした研修を施設内で行い、話し合うことでわかりあえる契機としていきます。」と笑顔で話されました。

キャリアパス研修 管理職コースでは、適切な職員への声かけの仕方など、信頼されるリーダーとなるための方法も学べます。研修で学んだことを実践し、職場に浸透させることで、個々の職員だけでなく、職場全体にも相乗効果が生まれます。

社会福祉研修・介護実習普及センターでは、オンライン研修等、様々な研修を実施しています。研修を受講し、自身の行動をよりよく変えていくことで、利用者へのサービス向上などにつなげることができます。ぜひ当センターの研修をご活用ください。



新型コロナウイルス感染症 感染予防・感染拡大防止対策の取組について



フロアに設置したアクリルパーティションです



浴室用のパーティションです

本会では、デイサービスセンター、ケアプランセンター、地域包括支援センター、ショートステイ、小規模多機能型居宅介護、グループホームの計37箇所での介護サービス事業所を運営しており、2月から各事業所で新型コロナウイルス感染症の感染予防、感染拡大防止に向けた様々な対策を行っています。例えば、デイサービスセンターでは、フロアの机に飛沫防止のためのアクリルパーティションを設置したり、机の位置を変更したりと、密にならないよう工夫をしています。

また、これまでは午前中に行っていた入浴を、午後の時間も入浴できるように調整し、浴室、脱衣室では椅子と椅子の間隔を空け、浴室用のパーティションを設置した施設もあります。

ケアプランセンター、地域包括支援センターでは利用者宅への訪問前の手洗いや手指消毒、マスクの着用はもちろんのこと、職員と利用者の体調について事前確認なども行い、お互いに不安のないように確認した上で居宅訪問を行っています。また、事務所内でも仕切り板を設置し、飛沫による感染予防に取り組みんでいます。

施設への来訪者に対しては、手指消毒と検温をお願いし、業者による荷物の受け取りは基本的に玄関先で対応する等としています。

これからは新型コロナウイルス感染症の感染予防、感染拡大防止の対策に取り組みながら、地域の高齢者が住み慣れた地域で安心、安全に暮らし続けられるよう、より良いサービスの提供を目指します。



ひと・まち交流館 京都 総合受付から 新型コロナ感染防止対策の実施により安心して ご利用いただけるよう取り組んでいます

施設の利用者などから、新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、メールで通知するサービスです。館内掲示ポスターのQRコードからご登録ください。

ひと・まち交流館 京都での取組

- 館内各所への消毒水の設置
- 会議室の消毒（毎日）
- 貸出備品の消毒（ご利用毎）

児童室備品の更新

子どもたちが触れる玩具やマットなどの備品を一新しました。

安心してご利用いただけるように、できるだけ衛生状態を確保しやすい素材のものを選んでいきます。



児童室のご利用後、毎回玩具の消毒を行っています



利用にあたってのお願い(令和2年12月18日現在)

- マスクの着用
- 館内にある消毒水の使用
- 検温及び有症状者の参加制限
- 参加者の連絡先把握
- 大声の抑止
- 密集の回避



コロナ禍でも安心して 利用できる児童館に



自由来館事業が7月に再開され、学童クラブの子どもたち以外の利用者も遊びに来られるようになりました。本会の児童館では、「新しい生活スタイル」の徹底を図り、安心して来館していただけるよう、検温や健康チェックを導入するとともに、事業内容や利用の仕方についても見直しました。乳幼児クラブや行事は内容毎に定員を決め、自由参加型の「遊びの広場」は、事前申込制にする等、新たにルールを設けた児童館もありますが、主旨をご理解いただき、「申込制や定員制だと、より安心して利用できる」と好評です。

そのような中、吉田児童館では、京都大学高等研究院との共催で、「感染防止と予防意識の向上」と「児童の創作意欲を高める」ことを目的として、「フェイスシールド作り」の体験会を行いました。「コロナ禍だからできること」として、外部との連携により、子どもたちに新しい取組を提供することができました。同大学の研究課程の紹介や子どもたちからの質疑応答などもあり、双方にとって良い経験になりました。

児童館では、地域の関係団体や機関等との連携のもと、「地域子育て支援ステーション事業」や「中高生世代と赤ちゃんとの交流活動」、「子育てサロン」のほか、つながりを活かした様々な取組を行っています。今後も、地域や子どもたちのために、「いま児童館ができること」を試行錯誤し、子どもたちの成長や子育て支援、地域との連携を推進していきます。

ご寄付のお礼

貴重なご厚志ありがとうございました。(敬称略)

令和元年

12月 関西遊技機商業協同組合
京セラ株式会社 従業員一同
京セラ株式会社 本社
京セラ労働組合 京都支部

令和2年

1月 株式会社 ホテルプリンセス京都
株式会社 京セラソーラーコーポレーション
在日大韓基督教会 京都東山教会
2月 河内 美恵子
3月 京都車いす点検ボランティア スマイルク
株式会社ロマンライフ
吉平 裕美

4月 一般社団法人 全国鐵構工業協会
株式会社ロマンライフ
京都南ローターアクトクラブ
広東恒基実業グループ
代表者 孫 デイビッド
FUKUSADA STUDIO株式会社 福定 良佑
5月 ONE:BOBA(株式会社岡田商会)
株式会社京都千鳥本舗
株式会社永楽屋
6月 共栄製茶株式会社
京みがわ株式会社
柳生 昌保

7月 Daddy Baby株式会社
日中發展促進会
フジモトHD株式会社
8月 葛野社会福祉協議会 会長 藤村 暁
ライオンズクラブ国際協会335-C地区
10月 京都学生祭典実行委員会
株式会社紅中
11月 一般社団法人 日本慈悲協会
株式会社 三協
日本太和浄宗学会
公益財団法人 京遊連社会福祉基金

※その他複数の匿名の方からもいただいています。

日常生活自立支援事業 生活支援員 (臨時職員) 募集中!

高齢の人や知的・精神に障害のある人などで、判断能力が十分でない人に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理についてお手伝いを行う事業です。

事業の担い手として、利用者の地域生活を区社協職員と一緒に支援する生活支援員を募集しています。

現在、市社協では、生活支援員となるための養成研修の参加者を募集しています。ご関心をお持ちの方は、どうぞお気軽に下記までお問い合わせください。

●養成研修

令和3年1月26日(火)、1月28日(木)、2月2日(火)の3日間開催。いずれも13時30分～15時15分。

会場はひと・まち交流館 京都
2階大会議室。事前申込制。

●申込・問合せ先

生活支援部
電話：075-354-8734



貸会議室 | ホール 等のご利用に!

ラポール京都

ホールと中小会議室を趣味の会や会議・研修会などにお気軽にご利用ください。

四條御前通バス停すぐ
西院駅 徒歩1分

TEL 075-801-5311

ラポール京都

京都市中京区壬生仙念町30-2(四條御前西入)
ラポール京都(公益財団法人 京都労働者総合協会)

メリットいっぱい UR

子育て支援事業者への賃貸料優遇制度 最大 賃貸料50%OFF
高齢者支援事業者への賃貸料優遇制度 最大 賃貸料20%OFF

※申込後の審査により、賃貸料が割引になる事業かどうか判断させていただきます。

UR テナント

権利金・礼金・手数料不要
工事前の賃貸料無料! 保証人不要!

テナント募集中

1,082戸の大型団地
小栗栖

所在地/京都市伏見区小栗栖南後藤町6番地 今回募集/2物件
募集業種/子育て支援施設、高齢者支援施設、医療施設、物販・サービス業、事務所等

〈例〉1-104	店舗	住宅	合計
床面積	45.10㎡	56.12㎡(1LDK)	
賃貸料(税込)(月額)	113,300円	48,400円	161,700円
共益費(月額)	3,350円	3,350円	6,700円
敷金	679,800円	96,800円	776,600円

※2階住宅とセットでお借りいただくことが条件となります。※他にも募集物件があります。
※素地賃貸物件となり、現状有姿での引き渡しとなります。

独立行政法人 都市再生機構 西日本支社 住宅経営部 経営課
UR 都市機構 〒536-8550 大阪府城東区森之宮1-6-85 TEL.06-6969-9044

詳しい内容や資料請求はこちらから ▶ URテナント 小栗栖 検索



184号 2021年1月5日発行

●発行/社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
TEL.(075)354-8731 FAX.(075)354-8736

Q 京都市社協 ホームページで京都市社協の活動を映像でご覧いただけます。携帯電話でもバーコードリーダーで右のQRコードを読んで簡単アクセス!



〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上の梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)「ひと・まち交流館 京都」

●発行人/小石玖三主 ●編集人/芳賀正昭 ●編集協力/株式会社きかんしコム



京都市社会福祉協議会では、京都市における環境負荷の管理・低減の規格であるKESステップ2を認証取得し、環境負荷軽減に努めています。



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行しています。

